

月日会70周年でお会いしましょう!

2年後の月日会70周年をみんなの力で成功させよう!

月日会々報

発行所
都立田園調布高等学校
同窓会 月日会
東京都大田区田園調布南27-1
発行人 鍵和田幹夫
編集責任者 小西正晃

おもな内容

- 月日会70周年でお会いしましょう! (一面)
- 幹事会だより (二面)
- 近況お便り、ご寄付、バザー献品 (三面)
- ありがとう (四角)
- 一般財団法人田園調布教育財団 創立70周年記念式典・祝賀会 (四角)

新型コロナウイルスに負けずに、月日会70周年に向けた準備を開始します!

月日会会長 (19期) 鍵和田 幹夫



昨年12月2日に昭和40年から44年まで月日会会長として活躍された本多喜太郎様(1期)が逝去されたとの訃報をいただきました。現在の月日会の礎を築かれたことに敬意を表するとともに心からの哀悼の意を捧げ、ご冥福をお祈りいたします。

昨年11月に「創立70周年記念式典・祝賀会」が賑々しく開催されました。月日会からも多くの会員が参加し、交流を深めました。

そして、いよいよ2年後の「月日会70周年」に向けた活動を本格化しようとした矢先に、新型コロナウイルス感染症によるパンデミックが発生し、これまで経験したことのない長期に亘る「自粛生活」を送る日々が続くこととなり、3月から5月の活動も休止せざるを得ませんでした。

田高も、3月の卒業式は大幅に縮小しての開催となり、その後も入学式

が延期となり、入学式も延期となりました。この状況下で、月日会70周年に向けた準備を進めることは、大変な課題となっています。

しかし、この状況下で、月日会70周年に向けた準備を進めることは、大変な課題となっています。

しかし、この状況下で、月日会70周年に向けた準備を進めることは、大変な課題となっています。

しかし、この状況下で、月日会70周年に向けた準備を進めることは、大変な課題となっています。

しかし、この状況下で、月日会70周年に向けた準備を進めることは、大変な課題となっています。

月日会70周年に向けた準備会開催案内

「月日会70周年に向けた準備会」を下記のとおり開催いたします。
「月日会70周年」を成功させるために多くの方のご参加をお待ちしています。

記

日時 10月17日(土) 午後1時30分～午後2時30分
会場 田園調布高校1階小会議室(予定)

・参加申込み方法

参加を希望される方は、同封した「会費入金票」にて会費振込の際に「月日会70周年準備会参加」欄に○を記入するようお願いいたします。

・学校を利用する上でのお願いです

- ① 駐車場はありません。ご来場は、公共交通機関をご利用ください。
- ② 学校内は、禁煙となっています。
- ③ 学校内は、決められた場所以外は立ち入り禁止です。

紙上総会開催

月日会幹事会は、名誉会長、会長、会計監査選任のため、紙上総会を開催し、次の方々をそれぞれ推薦いたします(会計監査候補は幹事長推薦となります)。

尚、鈴木洋子氏(12)は、平成26年からこれまで会計監査として活動されていましたが、今回辞任の申し出がありました。

- | | | |
|--------|---------------|-----------|
| ① 名誉会長 | 田中 博隆 氏 (6期) | 重任 |
| ② 会長 | 鍵和田幹夫 氏 (19期) | 重任 |
| ③ 会計監査 | 簡 敏 氏 (9期) | 重任 |
| ④ 会計監査 | 市川 忠司 氏 (31期) | 新任(現常任幹事) |

上案件の投票は、会費振込の際に「会費入金票」の候補者欄に、賛成の場合は○を、反対の場合は×を記入してください。10月31日(土)到着分までを有効とします。未返信または○×記入ない分は、賛成委任とみなし、過半数の賛成をもって承認されたものといたします(会則第3章第8条第4項第5号)。会員各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。なお、本議案が承認された場合には、11月1日(日)から新体制に移行します。

幹事会

御挨拶

都立田園調布高等学校校長
第20代 鴻野 誠



日頃から月日会の皆様方には本校の教育に温かいご支援

援ご協力を賜り誠にありがとうございます。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策により、6月1日に2339名の新生を迎え、新入生宣誓式を行いました。引き続き、月日会の皆様方のご支援ご協力のもと、一体となり、「チーム田高」で生徒の成長を支えていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。本校は「知・徳・体」のバランスのとれた教育を行い、品格を有し、多様性を享受できる真に自立した社会人の育成

学校の近況など

副校長 牛込 俊 裕



新型コロナウイルス感染症対策への対応がはじまり4か月が経過し、現在は教室に半数の生徒が入って行われる分散登校を行いながら、自宅で学習する生徒は教室で行われている授業をオンラインで学ぶ形態で教育活動が進んでいます。

学校では校長の方針である、生徒に対してできることは迷わず行うように、日々の対応が進んでいます。当初はベネッセによるOBSやリクルートのスタディサプリによる配信を行い、現在は双方方向オンライン学習に発展しています。学校では6月から始める分散登校の開始に向けて、教員研修からはじめ、試行錯誤しながら現在に至っています。

感染症対策へ現在も続けており、生徒への予防指導、環境整備、行事の見直し等、多岐に渡ります。また、これにともない体育祭や文化祭の中止、修学旅行の延期等、12月までの学校行事の多くを中止や延期に

を目指し、田高スタイルの文武両道を実践しています。昨年度に引き続き東京都中部学校経営支援センターから「センター特別指定校」の継続指定を受け、東京都教育委員会から「進路指導研究校アソシエイト」、「理数研究校」、「エンジョイススポーツプロジェクトモデル事業実施校」指定を受けました。生徒の学力と体力の一層の向上を目指し、取り組んでいきたいと考えています。生徒が楽しみにしていた体育祭、文化祭等、本校の大きな学校行事が中止となりましたが、今後、新型コロナウイルス感染症対策の状況に応じて、様々な教育活動を再開し、皆様にも情報発信していきたいと思っております。皆様方のご支援ご協力とお願いし、ご挨拶とさせていただきます。

私達は現在、足立区の病院で理学療法士としてリハビリの仕事をしています。就職して4年目になる今年は、働きながら大学院への進学が決まっております。新生活を楽しみにしていましたが、また、世間では日本だけでなく世界中で東京五輪を楽しみにしていたと思います。しかし、その中で新型コロナウイルスが流行し、オリンピックパラリンピックをはじめとした様々なイベントや行事が中止、延期になってしまいました。私自身も学会発表や資格試験、大学院の入学式が中止、延期になり悔しい思いをいたしました。

この数か月間、自粛や我慢の生活が強いられましたが、少しずつ戻ってきているように感じます。しかし、ここで気を緩めると再び第2、第3の波が来ると言われており、引き続き緊張した生活が続くと想定されます。感染予防として人と人との物理的なソーシャルディスタンスは大切ですが、心理的なソーシャルディスタンスにもなるという大変悲しいものであると思います。ぜひ、本会報をきっかけに田高での生活を思い出し、級友に連絡を取ってみたいかがでしようか。

未筆ではありますが、皆様と再び笑顔で会うためにも体調には気を付けていただき、一層のご自愛のほどお祈り申し上げます。

61期 永井 公規

年費(納入)がとうございます。今年度もよろしくお願い致します。

会員の皆様には、月日会活動にご理解をいただき感謝しております。

この会報を皆様にお届けできるのも皆様からの年費・ご寄付のおかげです。ご協力を本当にありがとうございます。

○PTA親睦会（9月28日）

幹事 豊山 純平 (68期)

二百二十五名
田高卒業生は延一万八千二名と
なりました。連絡可能月日会会員
は約一万二千名です

大田区田園調布南13-1-507
月日会事務局宛
FAX: 03-6459-8119
今春七十一期生三百三十九名入学

一般財団法人 田園調布教育財団

昨年の大型台風による
グラウンドへの被害は甚大に
なりました。

本財団は、主に運営委員を
中心に「学校支援」「地域支援」
「多摩川河川敷グラウンド運
営」の各事業を企画運営してい
ます。

特に、多摩川河川敷グラウン
ドは地域のスポーツクラブへの
開放により週末は大勢の子供た
ちが集まり、サッカーや野球に
親しむ貴重な施設として地域住
民に愛されてきました。

しかし、昨年10月に来襲した
台風19号による冠水に加え、復
旧工事の最中に発令された「新
型コロナウイルス感染症緊急事
態宣言」の発令により、令和元
年10月後半から今年の5月末ま
で約7ヶ月間、グラウン
ドが利用できない状態が
続きました。

一方、グラウンド運営
については、グラウンド運
営を利用する団体有志によ
り、自主的な管理・利用
ルール策定の試みなどが
行われ、更に地域に根差
した施設としての活用が
進みました。

URL : <http://www.denenchofu-kyouiku.or.jp/>

教職員異動

【転出】
眞鍋 紀子 (国語) 大森
森田 真央 (国語) 退職
内野 俊和 (地歴公民) 豊島
駒場 晃 (数学) 成瀬
逢坂 範彦 (数学) 雪谷
入山 美樹子 (理科) 日比谷
布施 美那 (理科) 退職
石橋 康正 (理科) 退職
猪狩 洋一 (保健体育) 退職
高野 瀬一 (音楽) 南平
小泉 早弓 (家庭) つばさ総合
石倉 美生 (経営企画室主事) 雪谷
佐藤 圭将 (経営企画室主事) 荒川区立赤土小

【転入】

大前 真由佳 (国語) 芝商業
中野 麻衣子 (国語) 雪谷
加瀬 達也 (地歴公民) 目黒
高田 伸 (数学) 総合科
伊藤 裕人 (数学) 葛飾野
石川 真理代 (理科) 日比谷
木村 礼美 (理科) 復職
鶴岡 瞳 (理科) 復職
井原 啓太 (保健体育) 蒲田
瀧澤 諭 (音楽) 板橋有徳
石川 由紀 (英語) 桜館中等
長 雅洋 (地歴公民) 武蔵が丘
富岡 知樹 (経営企画室主事) 大田区立蒲田小
小島 桜子 (経営企画室主事) 総合工科

今後、財団活動への支援に
協力よろしくお願いいたします。

理事長 田中 博隆 (6期)
副理事長 鍵和田幹夫 (19期)
理事 源田真由美 (20期)
理事 小西 正晃 (37期)

田高財団事業報告

「ふれあいバザー」池上カッ
プ、スポーツ鬼ごっこ、手話講
習会、郷土の歴史探訪、手作り
講習会、パソコン講習会等
昨年度も、財団各事業の運営
に協力・参加しました。その概
要は次のとおりです

(一) 内は、月日会からの参
加人数です。
32回目を迎える「ふれあい
バザー」(12名)は、9月14日
(土) 15日(日)の両日「ぼろ
にあ祭」に併せて開催され、昨
年同様500名を超える来場者
で終日にぎわいました。

多摩川河川敷グラウンドで
は、9月21日(土)に、小学生
サッカーチームの選手・コー
チ・親を対象にした「池上
カップ」離れて見守ろう(4
名)を協賛事業として開
催しました。午前中は池上
コートによる合同練習と質疑
応答、午後はコートが指示を
出さずに審判もいない中で選
手が自主的に試合運営をする
練習試合が行われました。参
加したメンバーは、選手の自

律を促す新鮮な刺激を受けて
いました。

又、9月29日(日)には、
「第3回スポーツ鬼ごっこ体験
会、全国予選大会」(8名)が
開催され、体験会には小学生を
中心に約50名、大会には、U-
9、U-12、U-22の3カテゴ
リーに12チーム150名が参加
しました。

一方、11月の「第16回中学生
サッカー大会」、12月の「第13
回小学生野球大会」は、いずれ
も台風19号による冠水により中
止しました。

11月9日(土)には、今年も
中川富美先生による「手話講習
会」(3名)が、現役生を含む
38名の参加により開催されま
した。例年通り、中川先生指導に
よる手話を利用したコーラスや
ゲームを参加者全員で楽しみま
した。

翌11月10日(日)には、「第
1回郷土の歴史探訪」(6名)
が初めて開催されました。今回
は「史跡・新田義興ゆかりの地
を訪ねる」と題して、矢口の渡
から下丸子までを約3時間かけ
て歩きました。

例年と違い独立した企画と
して12月7日(土)に開催さ
れた「手作り講習会」(6
名)では、参加者は今年も
様々な手作り講習を楽しみま
した。

令和2年2月1日(土) 8日
(土) 15日(土)には、延べ63
名の受講者を迎え「初級パソコ
ン講習会」(5名)が、田高3

進路状況

68期生の進路		合格者の多い四年制大学(浪人生含む)			
四年制大学	168	神奈川大学	26	國學院大学	11
短期大学	4	日本大学	21	関東学院大学	11
専門学校	22	東洋大学	20	東京工科大学	10
就職・公務員	0	法政大	14	駒澤大学	9
浪人他	31	専修大学	13	東海大学	9
合計	225	立正大学	13	桜美林大学	9
		立教大学	12	武蔵野大学	9
		明治学院大学	11	目白大学	9

大学合格状況(現役のみ)

国公立大学 6名
信州大学(2)、公立はこだて未来大学、東京都立
大学、神奈川県立保健福祉大学、愛知県立大学
私立大学 377名
早稲田(1)、上智(4)、東京理科(1)、学習院(4)、
明治(5)、青山学院(2)、立教(10)、中央(2)、
法政(10)、成蹊(3)、成城(6)、明治学院(8)、
國學院(9)、日本(19)、東洋(18)、駒澤(9)、専修(12)
ほか

田園調布高等学校創立70周年記念 式典・祝賀会が開催されました



階C A L L室で開催されまし
た。
最後になりますが、毎年5月
最終日曜日に開催される大田区

主催の「多摩川河川敷清掃活
動」は、「新型コロナウイルス
感染症緊急事態宣言」により、
中止となりました。

田中財団理事長(6期)によ
る乾杯、参加者の懇親の時間
が設けられました。懇親の間
には、卒業生による田高の紹
介や、体験談等の発表もあり、
和気あいあいとした雰囲気
で閉会しました。

式典は、学校主催で、全校生
徒参加のもと、鴻野校長の祝
辞、来賓祝辞、生徒代表の挨拶
の第一部、華曲部、吹奏楽部、
ダンス同好会の発表による第二
部が盛大に行われました。
式典・祝賀会にあわせて記念
誌が作成され、参加者に配布さ
れました。

70周年という節目に立ち会
うことが出来ましたが、同窓会
(月日会)は、今後も継続して
母校の支援を行い、80周年、90
周年、100周年と重ねていけれ
ばと思われました。

37期 小西 正晃

ぼろにあ祭に参加 今年は残念ながら中止

令和元年9月15日(日)に例年
通りぼろにあ祭に参加しました。
今年も引き続き「チャレンジ
2020」(2020日間毎日
フルマラソンを1人又はチーム
で走る)の紹介と14期の蒲生さ
んが前回の東京オリンピックの
聖火ランナーとして着用したユ
ニフォームの展示とともに、S
DGSに取り組んでいるOBの
活動の紹介を行いました。

残念なお知らせですが、新型
コロナウイルスの影響により9
月に予定されていた今年度の
「ぼろにあ祭」及び「ふれあい
バザー」は中止となりました。

いつも献品くださる
皆様すみません。

桐の木

2019年秋、植木屋さんと「桐の
木」を点検しました。「田高」の70周
年記念式典を迎えるにあたって、一
部枯れ枝の剪定、風除けの補強、周
りの雑草抜き、ステンレスの立札清
掃等を行いました。記念植樹として2
本の苗木をこの冬に準備しまし
たが、新型コロナウイルス感染対策の中で日程調整
ができず来年の冬に植樹することにさせていただきます。
今年は入学式が中止になりましたが、
「桐の花」は、沢山咲いてくれました。

「田高」のPTA会報の名前が41号(1994年)か
ら、「ぼろにあ」(桐の木)になり、今年で100号を
迎えています。特集頁「これが田高だ!」に【グラ
ウンドの周りには、当校の象徴である「桐の木」
が青々と葉を茂らせています。何本あるか数え
てみてください。】と書かれていました。答えは、
【18本】です。来年には20本になります。いつも
「桐の木募金」を本当に有難うございます。

名誉会長 田中 博隆(6期)



写真は、新幹線側のグラウンドフェンスと
校舎と開花した「桐の木」です。
(撮影、2020/04/27)

編集後記

新型コロナウイルスの感染が
社会問題化してきた3月、卒業
式は縮小して実施されました。
例年卒業式予行で、卒業生に月
日会の案内をしているのです
が、それも出来ず、今期の卒業
生の月日会参加率は過去最低と
なりました。

同窓会活動は「不要不急」で
はないものの、継続していか
ないと母校と卒業生のつながりも
薄れてしまいます。継続してい
くためには卒業生が月日会に入
会していただくことが第一歩で
す。この「会報」を毎年発行す
ることで、会員の皆様に母校の
情報をお届けすることが出来ま
す。

非常事態宣言の影響で、母校
のスケジュールも例年にならな
い状況になり、月日会活動も影響を
受けています。これからの時代
に「同窓会」に何が出来るか、

お知らせください!

会報を読んでのご意見、ご感想がありましたらご連絡くだ
さい。また、同期会開催案内、寄稿、住所変更等について
のお問い合わせも下記にお願いいたします。尚、お寄せ頂いた
情報は掲載できないこともございますのでご了承下さい。

住所: 〒145-0076 大田区田園調布南13-1-507
月日会事務局 宛 Fax: 03-6459-8119
HP: <http://tsukihikai.net/>

37期 小西 正晃